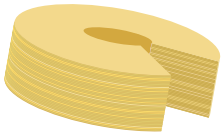
GenFIT実施レポート
～砂川市　岡崎浩一牧場～



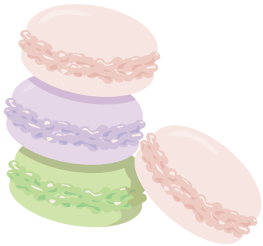


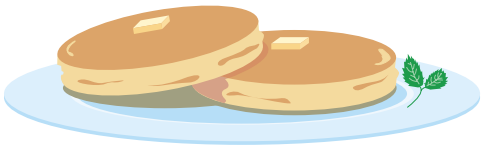
石炭とスイーツ?

空知管内に位置する砂川市は、かつて石炭産業で栄えた街です。炭坑で働いていた方の疲れを癒すため、また出稼ぎに来ていた多くの工員の帰省土産として甘いお菓子が重宝されたことから、砂川には昔から菓子店が多く存在していました。



今では石炭産業は衰退し、炭坑の閉鎖から約30年が経ちましたが、戦前から続く老舗や全国的にも有名で砂川に本社を持つ「北菓楼」などの和洋菓子店18軒が軒を連ねる「**すながわスイートロード**」として炭坑の歴史を残しつつ、新たに「お菓子の街」として注目を集めています。そんな「すながわスイートロード」を通りぬけ、今回は砂川市にある岡崎牧場にお邪魔し、GenFITへの声を聞いてきました！





岡崎牧場について

大正時代から続く牧場の4代目である岡崎浩一さんは、自家授精歴15年以上のベテランでもあります。

搾乳頭数は約40頭、GenFITは平成24年から実施しており今年で5年目を迎えます。



Q.始めたきっかけはなんですか?

乳検組合の役員をやっていたときに、何か新しい取り組みをしようということで地域全体で始めました。ＧＨの方から紹介があったのと、近交係数は漠然と気になっているけれど、実際の数字は見たことがなかったので、みんなで一度しっかりと見てみようという話になって。あとは授精をすべてNOSAIにおまかせしている人もいるのですが、獣医さんからも見てみたいという意見もあり始めることにしました。

Q.使ってみてどうですか?

今はGenFITの結果表がなかったら本当に困ります。GenFITをやる前は、もちろん購入の際に次世代の牛群の血統をイメージしながらアウトクロスも選んでいましたが、どうしても自分が好きな血統や系統は似てきます。アウトクロスを使っても必ずしもそれが受胎するわけではないし、結果的に牛群には

1,2頭しか残っていないことも。それによって授精のときに血統を考えるのがどんどん大変になってきていましたが、今は授精の際に結果を確認するだけです。GenFITはただ近交係数を下げるために利用するのではなく、正確な情報を得て、次世代の牛群をイメージするためにも大事なツールです。

Q.近年、自家授精をやってみたいという方が増えていますが、アドバイスなどはありますか?

授精しないことには受胎しないので、「疑わしい時は授精する！」というモットーで基本的には連注をしています。平均授精回数は1.8回です。人まかせにできないので、牛をよく観察する時間を作って、いろんな人の意見を聞いて取り入れるように心がけています。自家授精は自分でタイミングを決められるので、畑作業の時期などは時間配分が自由にコントロールできるのでいいですが、台帳管理や、ラベル、書類関係の提出など事務的な作業がとても大変なので、あまりオススメはしませんね(笑)



広い牛床と豊富な敷料の上でゆったり過ごしていました

Q.今後の展望について教えてください!

この地区では去年3戸も離農してしまったし、1戸の規模も大きくないので主産地と違ってクラスター事業もあたりません。今は市場が高いからいいけれど、こういう地域でしっかり力を付けるには、やっぱり基本である乳量を搾っていかなければならないと思っています。どうしても市場価格が魅力的なので黒毛の授精や受精卵移植が増えてしまうけれど、そのバランスを崩すと最後は自分たちに返ってくることだと思うので、ホルスタインの授精を心がけたいです。

また、事故が起きると時間も労力もかかるので、より省力化するために管理の部分も要因を見極めながら悪い箇所を1つ1つ潰していきたいです。肢蹄は環境の影響が大きいと思うので、能力と併せて乳器や体型の改良を重視しながら効率の良い改良をしていきたいですね。

自家授精は大変なことも多いと話されていた岡崎さんですが、やっぱり自分で授精して生まれた子は特別かわいいよとおっしゃったときの笑顔がとても印象的でした！
すべておひとりで管理されている中で、授精の際にGenFITが少しでもお役に立てていることがわかり、私もとてもうれしく思いました。お忙しい中、取材を受けてくださった岡崎様にこの場をお借りして深くお礼申しあげます。

(改良情報課　藤元郁子)

GenFITなら 3STEPで牛群の改良ができます！

1 改良したい形式を決める！　2 種雄牛を決める！　3 結果を確認！

詳しくはお近くの事業所または事務所または改良部までご連絡ください（北海道限定）